

文化ビジネス通信

2年目の今年は、1年目よりさらなる飛躍を目指し、地域の魅力をビジネスにつなげ、世界にも発信します。

Facebook開設しました。「長野県諏訪実業高校文化ビジネス教育」で情報発信中です。

平成29年6月29日
長野県諏訪実業高等学校

S P H通信



1年生の取組

1年生は「文化ビジネス」と伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解を目指します。具体的には、諏訪地域を中心とした伝統的文化や伝統的産業に関わる産業人や文化人に、文化や産業の現状・取り組みについて講義を受け理解を深めます。今回は6月に実施した講義の様子を報告します。

講義の様子紹介

6月13日 いずみや代表 宮坂 友子 様

6月15日 同志社大学大学院教授 村山 裕三 様

いずみ屋代表 宮坂友子様 「上諏訪駅前商店街の現状と取り組み」

冒頭に上諏訪駅前商店街の現状をイメージする色についての質問がありましたが、皆さんはどの色だと思いますか？(赤・青・緑・黄・灰・白) 生徒の答えは「灰色」が最多でしたが、宮坂さんからは「かつて金色に輝いていた時代からだいぶ変わってきてしまったが、もう一度輝きを取り戻せるように頑張っている。だから、高校生にもどんどん商店街を知ってもらい、みんなの思いや考えを寄せてほしい」という熱いメッセージをいただきました。



同志社大学大学院教授 村山裕三様 「地場産業と文化ビジネス」

前半は京都型ビジネスについて説明があり、マーケットが縮小している京都の伝統産業をビジネスにつなげ、拡大していく方法について紹介していただきました。後半は諏訪地域の地場産業をどう文化ビジネスにつなげていくかを具体的にご教授いただきました。

「日本一の技術力があるシルクを活用する」「茅野の寒天の強みは生産量日本一ではない」等、多くのアドバイスをいただき、生徒も一生懸命メモをとりながら、聞き入っていました。



生徒の感想・考え

- ・なるべく多くの人に諏訪の良いところを知ってもらいたいと思いました。
- ・「写真スポット」をつくって「Instagram」に載せてもらうようにしたらどうかと思います。
- ・学生が学校帰りに寄ることができるお店(パンとかコロツケとか安いもの)があると嬉しい。
- ・「文化ビジネスって??」と思ったけれど、今回の講義で理解することができ、今後に活かしていくことができそうです。
- ・物の見方や考え方を変えればもっと違った使い方ができるんだなと思いました。